

2023 年度 部局 FD 活動報告

工学部・研究科（情報工学科除く）

1. 各部局の FD の検討・実施体制を書いてください。（必ずご記入ください） 工学研究科の全教員を対象とした FD 集会は、公立大学工学教務委員会で企画している。その他教育改善に係わる情報も工学教務委員会で共有している。また、各学科・分野ごとに FD 会議を開催することで、各科目や各教育課程に関する改善や情報共有を個別に行っている。		
2. 教育改善・教育評価・FD に関する講演会、セミナー、ワークショップ等の開催		
開催日	内容（タイトル）	参加者数
2023.08.29	工学 FD セミナー「高等学校における学習指導要領改定に伴う情報科教育の今」	165 人
3. 教育改善・教育評価・FD に関する会議、委員会等の開催		
会議・委員会名	内容・開催日 （複数回の場合は「第 1 回（＊月＊日）～について」 「第 2 回…」と記載）	委員の人数
第 1 回工学 FD 報告会	2023 年度の工学研究科の各学科・専攻における FD 取り組みの概要を発表し、情報を共有した（3 月 14 日）	26 人
航空宇宙工学 FD 会議	月 1 回の教室会議において、学生の履修状況や学習成果についての点検・評価と、教育の質の改善・向上に関する検討を実施（12 回）	12 人
2023 年度第 1 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	2023 年度海洋システム工学概論 工場見学の実施内容の検討、入学者成績分布状況、入学時アンケートの分析（4 月 25 日）	12 人
2023 年度第 2 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	2024 年度以降の機械工作実習について、受験生の志願学科分析について協議（5 月 23 日）	12 人
2023 年度第 3 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	授業アンケートについての分析、2024 年度以降の大学院科目に関する協議（6 月 27 日）	12 人
2023 年度第 4 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	2024 年度以降の機械工作実習について、2024 年度以降の学部科目内容および科目担当者の変更について、後期科目海洋システム総合演習について協議（7 月 25 日）	12 人
2023 年度第 5 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	前期成績情報報告、JABEE(内部質保証)エビデンス資料の保管期間について、転学科の選考方法・条件等について協議（9 月 26 日）	12 人
2023 年度第 6 回海洋システム工学科/分野	修了要件に含む事が可能な他専攻 B 群科目について、2 次回以降の JABEE の継続審査について協議（10 月 24	12 人

FD 会議	日)	
2023 年度第 7 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	2024 年度 初年次ゼミナールおよび「エンジニアのためのキャリアデザイン」担当者選出、森之宮キャンパス使用教室調査、2024 年度「海洋システム工学総合演習」の内容について協議（11 月 21 日）	12 人
2023 年度第 8 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	博士前期課程のカリキュラムポリシーの変更について、2024 年度「海洋システム工学総合演習」の内容について、協議（12 月 26 日）	12 人
2023 年度第 9 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	卒業研究ルーブリックの内容確認、外部評価委員会の開催および内容について、協議（1 月 23 日）	12 人
2023 年度第 10 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	総合型選抜入学前教育、外部評価委員会の開催および内容について、協議（2 月 27 日）	12 人
2023 年度海洋システム工学科/分野 FD 外部評価委員会	分野 FD 外部評価委員会を開催。以下の内容を報告し、外部評価委員の方々より、評価・ご意見を頂戴した。 ・2023 年度活動報告（入試・教育・研究） ・入学者分析、成績分布、研究発信状況 ・大学統合後の状況（3 月 19 日）	18 人
2023 年度第 11 回海洋システム工学科/分野 FD 会議	外部評価委員からのアンケート内容の共有、年度の FD 活動の振り返り、次年度からの FD 会議および外部評価委員会のあり方について協議（3 月 26 日）	12 人
（機械工学科） 教育点検・生活指導委員会	学生の履修状況や授業の問題点等を教員間で情報共有し、対応が必要な学生の分野内アドバイザーへ対応を依頼した(4/25、 5/23、 7/4、 7/25、 9/19、 10/26、 11/30、 12/26、 1/30、 2/27、 3/26)。（中百舌鳥）	24 人
機械工学科 FD 集会	10 月 5 日開催。次年度から実施する「機械設計演習」および「機械製作実習」の内容について協議した。両科目の検討ワーキンググループの代表者から内容説明があり、課題のボリュームや運営方法について意見交換を行った。後日 12 月 11 日、別途検討中の「機械応用実験」の内容も含めて、オンラインにて中百舌鳥側教員への 3 科目の内容説明を行い、さらなる検討を行った。（杉本）	30 人
（機械工学科） 科目間調整WG	・機械工作実習：2023 年度後期ならびに 2024 年度後期開講の機械工作実習の実習案を作成するとともに、受講生の履修状況ならびに対応について協議した（4/25、 7/19、 9/27、 1/5）。（中百舌鳥） ・機械工学実験：旧カリキュラムの機械工学実験の内容等について検討した(7/27、 8/10、 10/16、 12/4、 1/22、 3/18)。（中百舌鳥）	24 人

公大・機械工学基礎・ 応用実験 WG	・中百舌鳥・杉本合同で新カリキュラムの機械工学基礎実験、機械工学応用実験の実施内容を検討した(7/28、 8/8、 8/9、 12/11)。(中百舌鳥・杉本)	5 人
公大建築会議	第 1 回 (8 月 7 日) 未来に向けて”いま”学ぶべきこと	13 人+学生
公大建築会議	第 2 回 (2 月 8 日) 各分野が育てたい“人”	11 人+学生
都市学科 FD 会議	2022 年度の卒業・修了時アンケート結果および 2023 年度新入生アンケート結果の共有 (7 月 31 日)	20 人
電子物理系 FD 会議 (専攻教授会)	第 1 回 (4 月 27 日) 第 2 回 (5 月 25 日) 第 3 回 (7 月 6 日) 第 4 回 (7 月 27 日) 第 5 回 (9 月 28 日) 第 6 回 (10 月 26 日) 第 7 回 (11 月 3 日) 第 8 回 (11 月 30 日) 第 9 回 (12 月 26 日) 第 10 回 (1 月 31 日) 第 11 回 (2 月 22 日)	15 人
電子物理工学 (電子物性コース) FD 会議(担当者会議)	第 1 回 (4 月 20 日) 学生異動、および既修得単位認定、 教学アセスメント作成について 第 2 回 (5 月 18 日) B4 集中講義の日程確認、卒論・修 論発表について 第 3 回 (6 月 29 日) 学生異動について 第 4 回 (7 月 22 日) B2 コース配属について 第 5 回 (9 月 14 日) 電子物理工学概論 1 単位取得状況、 および学生異動、B2 コース配属の 決定について 第 6 回 (10 月 19 日) 学生異動、および次年度集中講義、 B4 中間発表について 第 7 回 (11 月 16 日) 研究室説明会、講義担当について 第 8 回 (12 月 22 日) 次年度の研究室構成、研究室説明会 (B3 対象) について 第 9 回 (1 月 18 日) 卒論・修論発表、進路相談について 第 10 回 (2 月 15 日) 学生異動、進路相談について * 毎回：成績不良者への対応に関する報告・意見集約	9 人
電子物理工学 (電子物性コース) FD 会議 (教室会議)	第 1 回 (4 月 27 日) 第 2 回 (5 月 25 日) 第 3 回 (7 月 6 日) 第 4 回 (7 月 27 日) 第 5 回 (9 月 28 日) 第 6 回 (10 月 26 日) 第 7 回 (11 月 30 日) 第 8 回 (12 月 22 日) 第 9 回 (1 月 25 日) 第 10 回 (2 月 22 日) 上記担当者会議の内容を構成員に共有	28 人
電子物理工学実験 (電子物性コース) FD 会議	第 1 回 (2 月 24 日) 公立大電子物理工学科提供の電子物 理工学実験 1 (なかもず) の実施内容の検討 (今年度分の FD 活動を前年度のうちに実施) 第 2 回 (9 月 28 日) 公立大電子物理工学科提供の電子物	8 人 (第 3 回は 9 人)

	理工学実験 2（なかもず）の実施内容の検討 第 3 回（2 月 2 ～ 14 日） 公立大電子物理工学科提供の電子物理工学実験 2（なかもず）の評価基準について検討（メール協議）	
応用物理学実験 (基礎教育科目) FD 会議	基礎教育科目として工学部内の大半の学科に提供している「応用物理学実験」の将来的な運営に関する検討会議 (2 月 20 日)	4 人
電子物理工学 (電子材料コース) FD 会議	第 1 回（4 月 27 日） 第 2 回（5 月 25 日） 第 3 回（7 月 6 日） 第 4 回（7 月 27 日） 第 5 回（9 月 28 日） 第 6 回（10 月 26 日） 第 7 回（12 月 7 日） 第 8 回（2 月 1 日） 第 9 回（2 月 22 日） 上記担当者会議の内容を構成員に共有	16 人
電子物理工学実験 (電子材料コース) FD 会議	第 1 回（7 月 27 日） R6 年度の実験手引書の作成について 検討 第 2 回（9 月 26 日） R6 年度の実験テーマについて検討 第 3 回（12 月 6 日） 実験テーマについて検討及び移転に伴う実験機材の購入などの検討	9 人
（電気電子システム工 学科） 分野教育改革会議	部局の教育委員会の情報共有し、分野の教育方針の審議などを行う(月例/8 月休会、年 11 回開催)	24 名
（電気電子システム工 学科） 分野教育委員会	分野全体で担当している講義の実施方針に関する打ち合わせ等(月例/4 月・8 月休会。10 回開催。メール開催を含む)	7 名
（電気電子システム工 学科） 実験委員会	分野が担当する実験に関して方針、学生の受講状況などを共有する。（定例/年 3 回開催）	14 名
応用化学科 教育委員会	公大での新設科目（応用化学概論、応用化学総合演習）に関する実施内容検討 第 1 回（12 月 22 日） 応用化学概論について今年度の振り返りと次年度の計画について 第 2 回（1 月 26 日） 応用化学総合演習の実施計画について	12 人／回
応用化学科 教室会議	公大での新設科目及び学科全教員で担当する科目の今年度の実施状況及び次年度の準備状況の情報共有と検討 第 1 回（7 月 24 日） 前期の履修状況の情報共有と新設科目（応用化学総合演習、構造解析演習）の準備状況について 第 2 回（12 月 25 日） 後期の履修状況の情報共有と新設科目（応用化学総合演習、構造解析演習）の準備状況について	30 人／回
（化学工学科）	1 年の導入科目である化学工学序論の実施方法の検討と在	16 人

2023 年度第 2 回教室 会議と職員会議（4 月 24 日）	学生の履修指導、新 2 年生、新 3 年生の数学や物理の履修 に問題のある学生を抽出し、学生アドバイザーからの面談 報告、新 4 年生の研究室配属後の状況について、博士前期 学生の就職状況について、博士後期学生の博士論文につい ての進捗状況の確認、履修登録に問題のある学生の抽出	
（化学工学科） 2023 年度第 3 回教室 会議と職員会議（5 月 29 日）	教務委員会／教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状 況の確認、在学生の履修指導、博士前期学生の就職状況につ いて、化学工学序論や化学工学英語演習の実施状況につ いて、博士後期学生の博士論文についての進捗状況の確認 、編入学試験の実施状況についての確認、入学時アンケ ートへの対応	16 人
（化学工学科） 2023 年度第 4 回教室 会議と職員会議（7 月 3 日）	教務委員会／教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状 況の確認と中間試験の成績不審者について、博士前期学生 の就職状況について、化学工学序論や化学工学英語演習の 実施状況について、編入学試験の実施状況、前期期末試験 に向けての成績不審者の状況確認、学生実験等のレポート 提出状況の確認	16 人
（化学工学科） 2023 年度第 5 回教室 会議と職員会議（7 月 31 日）	教務委員会／教育運営委員会報告、専門科目授業の進捗状 況の確認と成績不審者および多回欠席者について、博士前 期学生の就職状況について、化学工学序論の研究室見学や 化学工学英語演習の成績の付け方について、前期授業の成 績不審者や実験科目のレポート提出状況について	16 人
（化学工学科） 2023 年度第 1 回臨時 教室会議と職員会議 （8 月 23 日）	大学院入試の状況について、大学院 A 群科目の評価につ いて、8/29 の工学 FD セミナーへの参加依頼、就職状況につ いて、前期授業の成績不審者や実験科目や必修科目の不 合格者について	16 人
（化学工学科） 2023 年度第 6 回教室 会議と職員会議（9 月 25 日）	教務委員会／教育運営委員会報告、後期授業の実施方法に ついて、博士前期学生の就職状況について、前期授業の成 績不審者や実験科目や必修科目の不合格者への面談状況 について、コンタクト教員制度を用いた教員と学部 2 年、 3 年生徒の面談計画について	16 人
（化学工学科） 2023 年度第 7 回教室 会議と職員会議（10 月 30 日）	教務委員会／教育運営委員会報告、後期授業について、博 士前期学生の就職状況について、前期授業の成績不審者や 実験科目や必修科目の不合格者への面談状況について、4 年次進級が危ぶまれる学生についての面談結果について、 学部編入生に対して、本学域教育内容と単位認定科目間の ギャップを埋めるために入学前に勉強しておくべき範囲 について、博士前期課程学生への大学院博士後期進学・就 職についての説明会について、コンタクト教員制度を用い た教員と学部 2 年、3 年生徒の面談結果について、線形代	16 人

	数学授業の問題について	
(化学工学科) 2023 年度第 8 回教室 会議と職員会議 (11 月 27 日)	教務委員会／教育運営委員会報告、後期授業の実施方法について、博士前期学生の就職状況について、3 年次学生の研究室紹介であるオープンラボについて、成績等のガイダンス資料について、3 年次編入生へのガイダンスについて、学会関連で学生発表会および地方大会について、博士後期課程学生の博士論文の論文投稿状況について、線形代数学授業の問題への対応について	16 人
(化学工学科) 2023 年度第 9 回教室 会議と職員会議 (12 月 25 日)	教務委員会／教育運営委員会報告、後期授業の実施方法について、博士前期学生の就職状況について、オープンラボの実施報告、卒論・修論・大学院博士前期 1 年学生の中間発表について、在校生オリエンテーションについて、博士後期課程学生の博士論文の論文投稿状況について、編入学生の単位認定について	16 人
(化学工学科) 2023 年度第 10 回教室 会議と職員会議 (1 月 29 日)	教務委員会／教育運営委員会報告、後期授業の実施方法について、2024 年度学生必携 PC の部局独自スペックについて、卒論と修論発表会の配布要旨の取扱いについて、博士後期課程学生の博士論文提出・査読状況について	16 人
(化学工学科) 2023 年度第 2 回臨時 教室会議と職員会議 (2 月 14 日)	2024 年度授業の実施方法について、2023 年度学生必携 PC の部局独自スペックについて、後期授業の成績不審者や実験科目のレポート提出状況について、卒論と修論発表会について、大学院博士前期 1 年学生の中間発表の表彰について、博士後期課程学生の公聴会について、2024 年度化学工学序論の内容について	16 人
(化学工学科) 2023 年度第 11 回教室 会議 (2 月 26 日) 2023 年度第 12 回教室 会議 (3 月 25 日)	教務委員会／教育運営委員会報告、前期授業の実施方法について、2023 年度学生必携 PC の部局独自スペックについて、新入生ガイダンスについて、卒論と修論発表会の配布要旨の取扱いについて、博士後期課程学生の博士論文提出・査読状況について、化学工学序論にすすめかたについて、学生アドバイザーによる 1 年次、2 年次生への個別ガイダンスについて、3 年次で進級できない学生へのケア、3 年次編入学生への履修指導について	16 人
マテリアル工学・ 2023 年度教室会議	第 1 回 (4 月 26 日) 大学院入学者報告、大阪府立狭山高等学校への講師派遣について、副指導教員制度について 第 2 回 (5 月 24 日) FD 活動の取り組みについて、研究室学生に配置換えについて、分野講演会について 第 3 回 (7 月 5 日) ランキング対策に関する検討、大学院履修登録について 第 4 回 (7 月 26 日) 大学院入試実施状況について、副指導教員制度の実施状況について	12 人／回

	第5回(9月27日) 博士後期学位申請予定者について、工学FDセミナーの動画視聴依頼、広報に関する依頼 第6回(10月25日) QS 世界大学ランキングの評判調査への協力依頼、博士前期課程英語コース提供について、学生実験室の問題について 第7回(11月29日) 講義担当者について、学生実験の担当者および内容について 第8回(12月26日) 大学院入試博士後期課程の出願者について、大学院科目の廃止と新設について 第9回(1月24日) 学校推薦型選抜の変更点について、非常勤講師について、研究・国際化ロードマップについて	
化学バイオ工学科 FD 集会	化学バイオ工学科FD集会(11月21日)にて、以下の項目について確認および討議を行った。 1. 入試の状況に関して 2. 入試形態と入学後の成績に関して 3. GPCの平均と標準偏差に関して 4. 卒業・修了時アンケートおよび入学時アンケートに関して	20 人
化学バイオ工学分野 会議	・第1回分野会議(4月25日)にて、学生の履修について確認および討議した。 ・第2回分野会議(5月23日)にて、学部・大学院入試、学生の動向について情報共有および討議した。 ・第3回分野会議(7月5日)にて、学部・大学院入試について確認および討議した。 ・第4回分野会議(7月25日)にて、学部・大学院入試、授業カリキュラムについて確認および討議した。 ・第5回分野会議(8月24日)にて、学生の動向について情報共有および討議した。 ・第6回分野会議(9月19日)にて、大学院入試、学生の動向について情報共有および討議した。 ・第7回分野会議(10月25日)にて、学部・大学院入試、学部カリキュラムについて確認および討議した。 ・第8回分野会議(11月21日)にて、大学院入試、学部カリキュラムについて確認および討議した。 ・第9回分野会議(12月26日)にて、大学院入試、学部カリキュラムについて確認および討議した。 ・第10回分野会議(1月23日)にて、学部カリキュラム、修士論文発表会、卒論発表会、学生の動向について確認および討議した。 ・第11回分野会議(2月28日)にて、学部・大学院入	20 人

	試、学部カリキュラム、学生の動向について確認および討議した。 ・第12回分野会議（3月26日）にて、大学入試、学生の動向について情報共有および討議した。	
量子放射線工学分野 FD 会議（月一回）	専攻提供の講義の実施内容の検討と計画、及び学生の研究 状況取り組み状況の報告など FD に関する議論	12 人

4. 上記以外の教育改善・FD に関する取組（但し、成績 GP 分布関連は次項に）

（工学全体）

- ・2023 年度に入学した学部生および大学院生を対象に入学時アンケートを実施し、本学で身につけたい能力や将来取得したい学位など幅広い項目で調査を行なった。結果は工学部内で共有した。

（航空宇宙工学科、航空宇宙工学分野）

- ・新入生オリエンテーション、学年ガイダンス
- ・授業評価アンケートの実施と授業改善の検討
- ・卒論発表優秀賞、および修論発表優秀賞、修論アイデア賞の選出

（海洋システム工学科、海洋システム工学分野）

- ・卒業研究ループリックの確認および、その評価方法に対する意見聴衆を行った。多くの教員が評価を行う「海洋システム工学実験」への展開の検討を行う。
- ・2024 年度以降の「海洋システム工学機械工作実習」について、外部企業の協力のものと学外での実習を含める形の内容に決定した。
- ・旧カリキュラムと新カリキュラムの接続について協議し、内容の微調整および担当者の変更等を協議し決定した。
- ・入学区分や学年ごとの成績データを解析し、学生動向や成績動向について調査した。
- ・外部評価試験結果（StudentEQ 等）と成績および教育プログラムとの関係を分析した。

（機械工学科、機械工学分野）

- ・3 年生に進級時のコース分けの方法と受講科目について協議した。（中百舌鳥）
- ・アドバイザーを中心に成績不振者に対して履修指導を行った。（中百舌鳥）
- ・半期ごとに、学年相談委員が成績不振者と面談し、学習相談や履修指導を行った。（杉本）
- ・特に注意が必要な学生については、専攻会議にて状況を共有した。（杉本）
- ・新4 回生の研究室への配属方法について再検討を行い、配属方法への変更について学生への説明会を実施した。（杉本）

（建築学科、建築学分野）

- ・月1 回程度開催される学科会議において、学生の就学状況に関する情報を共有し、必要な場合には対策について協議・検討を行った。
- ・学年横断型の設計課題講評会(Vertical Review)を、公大建築会議と併せて前後期各1 回開催した。
- ・外部講師を招いた講評会において卒業設計最優秀賞を授与した。（2/21）
- ・学科での卒業証書授与式において、建築学科賞（論文）および建築学科賞（設計）をそれぞれ授与した。（3/22）
- ・学科 OB・OG による職業ガイダンスを実施した。

（都市学科、都市学分野）

- ・月1 回程度学科会議を開催し、各学年の学生の履修状況を随時確認した（学生アドバイザーによ

る)。

- ・臨時学科会議の開催による学科再編について議論した。
- ・学科教務委員会による完成年度以降の教員の移動に伴うカリキュラム再編方針案について学科会議において議論した。
- ・B3、M1 向けに都市学科関連業界の説明会を 10/26、11/30、12/14 に実施した。

(電子物理工学科、電子物理工学分野)

○共通

- ・カリキュラムオリエンテーションを利用して、新入生が大学生活を滞りなくスタートできるように、新入生向けの導入研修を実施した (4 月 2 日実施)。
- ・学部生、院生 (M、D) 向けのオリエンテーションを実施し、大学生活および単位修得に関する注意喚起を行った (4 月 2、3 日実施)。
- ・教室会議において、入学試験及び入学時アンケートの情報を共有した。
- ・特に「電子物理工学概論 2」では 1 年生の意識調査に関するアンケートを実施し、学科内で共有した。アンケート結果を基にして、次年度はより充実した講義にするための意見交換を行った。また、「電子物理工学概論 1、2」の成績を基にして成績不振者の動向に関する情報を共有した。
- ・工学 FD セミナー等の学内 FD セミナーに参加した (詳細は 7. で説明)。

○電子物性コース

- ・講担会議・教室会議を定期的実施し、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。
- ・前期・後期に実施する授業評価アンケートの分析結果の情報を共有した。
- ・卒業・修了時アンケートの情報を共有した。
- ・特に M2 怠惰学生に対する指導ルールの厳密に設定した。
- ・教育 PDCA サイクルを実践すると同時に課題点を洗い出し、講担会議・教室会議 (各 10 回) を通して、解決に向けた検討を行った。本活動報告の提出後、本年度の活動に対して学外チェック委員からコメントをいただき、これを 3 月の講担会議・教室会議で共有した。
- ・大学コンソーシアム大阪主催「高大連携フォーラム」を企画した (1 名 2 回)。
- ・電子物理工学実験 I、II について、出席・レポート提出状況を担当教員以外も参照できるようにすることで、主任や学年アドバイザーの教員等が適宜サポートできる体制を整えた。
- ・大学院講義において海外からの特別履修生対象に、講義内容の理解を助けるための英文の補足資料を作成して提供した。最終レポートの記述内容より講義理解に有効であったことが確認できた。
- ・アセスメントシートに基づく点検について講担会議および教室会議で情報共有・意見交換を行い、点検内容に問題がないことおよび実効性が伴っていることを確認した。

○電子材料コース

- ・教室会議を定期的実施し、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。
- ・前期・後期実施する授業評価アンケートの分析結果の情報を共有した。
- ・卒業・修了時アンケートの情報を共有した。
- ・電子・物理工学実験 I で開講するテーマ「研究開発実務研修」での工場見学先を実験科目担当教員全員で協議し、電子物理工学にかかわりの深いローム株式会社を訪問先として決定した。
- ・電子・物理工学実験 I の成績講評を実験科目担当教員全員で行い、情報を共有した。
- ・R6 年度の電子物理工学実験 2 (電子材料)の学習向上のための実験テーマの検討を行った。

(電気電子システム工学科、電気電子システム工学分野)

- ・大学の実施する学生アンケートを学科独自で集計を行い、教員間で共有した。

(府大電気電子システム工学課程)

- ・3年生後期の実験科目のまとめとして成果発表会を実施した。実験担当以外の教員も参加し、実験担当者以外の視点からのコメントを行った。コメントは学生がレポート内にまとめることで実験担当者が共有した。
- ・3年生に研究室の雰囲気を知ってもらい、研究室配属先選択の一助とするため 12/4～8 に分野全研究室の研究室見学会(オープンラボ)を開催した。
- ・3年生に配属希望研究室の研究内容を知ってもらうため、M1 科目の特別演習第2で実施するポスター発表会を3年生の実験科目の中に組み込んだ。

(市大電気情報工学科)

- ・3年生の研究室先行配属のために、市大・電気情報工学科教員全員での会議を開催し、成績確認・配属方法・配属候補学生の検討を行った。

(応用化学科、応用化学分野)

- ・実験科目については、従来から行っている1年次の基礎化学実験の担当に学科から教員を出すことによって入学直後の学生の化学に関する理解度を把握し、2年次以降の応用化学実験につなげるための学科内での情報共有を行っている。
- ・演習科目については、教科書の問題を用いて行っていた科目と自前で作成した問題を使用していた科目があったが、今年度からすべての演習科目で講義科目での理解度を踏まえた自前で作成した問題とすることによって、講義科目で理解度が低かった内容に関する理解度を高めることを行った。

(化学工学科、化学工学分野)

○学部・課程

- ・化学工学科(1年生)および化学工学課程(2-4年生)では、4月および必要な時期に、学年ごとにとりまとめたガイダンス資料に基づいたカリキュラムオリエンテーションを開き、学生の履修相談等に積極的に助言を与える。
- ・授業の履修や学生生活における相談窓口として、学生アドバイザーに加え、いつでも教員と相談できるコンタクト教員制度を導入し、修学・進路・家庭・課外活動・その他学生生活全般についての相談に応じるとともに、指導または助言を与える。
- ・毎月授業の履修・出席状況を確認し、教室会議終了後の職員会議で報告し、学生アドバイザーやコンタクト教員による対応など、問題解決のための協議をする。
- ・独自のマークシート式の授業アンケート、職員会議、カリキュラム委員会などで挙げた意見や問題を話し合い、教育の質の改善・向上に生かす取り組みを続ける。
- ・教育の内部質保証を目指して、2021年度から、化学工学に関する外部試験の受験を奨励しており、学卒の程度の化学工学に関連した専門的应用能力を持っている「技術者」「研究者」を対象にした、「化学工学技士(基礎)」の受験を今年度も学域卒業予定者推奨し、その合格率や平均点などを今後の教育に反映する。

○大学院

- ・博士前期課程および博士後期課程のすべての学年に対して、ガイダンス資料に基づいたカリキュラムオリエンテーションを開き、学生の履修相談、研究の進捗などに積極的に助言を与える。また、大学院博士後期課程進学における経済的なサポート状況などの大学や工学研究科の制度などを詳しく説明する説明会を開催する。

- ・就職など分野独自の説明会を開き、修学・進路についての相談を受け付ける。
- ・指導教員のみならず分野長、副分野長、教務委員などが、家庭・課外活動・その他学生生活全般についての相談に応じるとともに、指導または助言を与える。
- ・毎月授業の履修・出席、研究室での研究の進捗状況を確認し、教室会議終了後の職員会議で報告し、研究指導教員による対応など、問題解決のための協議をする。
- ・大学院の博士後期課程学生の博士研究の進捗状況を分野全教員で共有する。
- ・独自のマークシート式の授業アンケート、職員会議、カリキュラム委員会などで挙げた意見や問題を話し合い、教育の質の改善・向上に生かす取り組みを続ける。

(マテリアル工学科・マテリアル工学分野)

- ・学科／分野内 FD 活動計画・進捗などについて議論するため、ワーキンググループを編制した。
- ・毎月開催される教室会議内で成績不振者への対応など学科の FD 全般について議論した。
- ・学生本人の希望に基づき副指導教員を決定し、定期的な面談を行い、精神的なケアを含む研究指導のサポートを行った。
- ・アクティブラーニング等を取り入れた新しい授業形態について情報共有した。
- ・全学／工学 FD セミナーへの参加を呼び掛けた。
- ・教員人員構成の変化に対応し、講義担当者、講義科目および内容の見直しを行った。
- ・国内外から著名な研究者を招き講演会を開催し、最先端の研究内容について学ぶ機会を設けた。

(化学バイオ工学科、化学バイオ工学分野)

- ・1-3 回生全員に対し、学生自身による単位取得状況振り返りの機会を設けるとともに、教員との個人面談を行い履修計画に対するアドバイス等を行った。4 回生および大学院生に対しては、所属研究室の研究指導教員が適宜対応した。
- ・月 1 回開催の学科・分野会議において、注意が必要な学生の動向に関する情報を共有し、適宜対応を協議した。

(量子放射線系専攻)

- ・学内外で開催されている放射線教育関連の催し等の機会を通じて中学・高校教員等の意見交換し、その中で得られた情報を上記 FD 会議で共有し、その成果を分野の教育活動に役立てた。

5. 成績 GP 分布、GPC データの分析に関連する事柄 (必ずご記入ください)

(工学全体)

提供を受けた専門科目の GPC を、公大科目、市大科目、府大科目に分類し、各学科・分野・専攻ごとに GPC の平均と標準偏差を算出した。集計結果を公大工学教務委員会で説明した。さらに各学科・専攻で共有することで各授業担当者の採点時の参考にしていただいた。

(海洋システム工学科、海洋システム工学分野)

- ・GP 分布等の成績情報を元に、府大生、公立大生および入試区分の違いによる成績の差異の分析を行った。

(機械工学科、機械工学分野)

一部の基幹教育科目においてクラス間で GPC の差が大きいことが判明したため、改善要求を出した。

(都市学科、都市学分野)

- ・市大生の成績状況および取得状況を踏まえた旧カリキュラムの継続方針について学部教務委員より学科会議で報告を行った。

(電子物理工学科、電子物理工学分野)

- ・物理系の基礎教育科目について GPC データの分析を行い、クラス間で大きな問題がないことを確認した。
- ・電子物理工学科 学年間の修学状況の差を把握するため、各学年について GP 分布を調査した。
- ・特に学部 1 年生については、「電子物理工学概論 1、 2」の成績を基にして成績不振者の動向に関する情報を共有した。
- ・電子物理工学科内のコース配属 (学部 2 年生) において一部 GP データを活用した。配属後のコース毎の GP 分布を調査した。

(電気電子システム工学科、電気電子システム工学分野)

杉本・中百舌鳥キャンパス所属教員の統合、および、今年度末からほぼ毎年定年退職する教員がでることにより担当講義科目の変更が予定されるため、担当教員の変更により成績評価に大きな変化がないように GPC の記録を残し分野内で共有する。

(化学バイオ工学科)

半期ごとの GPA 分布の推移と入学時の入試方法との関係について調査し、学科の FD 集会で報告し討議した。また、学年ごと (2022 年入学生、2023 年入学生) の成績分布の違いについて調査し、報告した。

6. 年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 [実数] (必ずご記入ください)

- ・年に 1 回以上、FD 活動に参加した専任教員の人数 (253) 人
- ・所属内の専任教員の人数 (261) 人

7. その他、追記事項

(航空宇宙工学科、航空宇宙工学分野)

・航空宇宙工学科では、編入学試験問題作成委員会を組織し、各年度の試験問題について検討している。航空宇宙工学分野では、大学院入試委員会 (専門基礎/専門科目作成委員会) を組織し、各年度の大学院入試問題および入試全般に関して検討している。

(電子物理工学科、電子物理工学分野)

○電子物性コース

- ・講担会議・教室会議を定期的実施し、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。
- ・学生の成績 (GP) を基にして成績不振者の動向に関する情報を共有した。

○電子材料コース

- ・教室会議を定期的実施し、教育の質の改善・向上に関する取り組みを実施している。
- ・学生の成績 (GP) を基にして成績不振者の動向に関する情報を共有した。
- ・旧市大生向け電子・物理工学実験 II の成績講評を実験科目担当教員全員で行い、情報を共有した。

○セミナー等の参加状況

2023.05.12 ChatGPT と大学教育 - 対話型 AI が教育現場にもたらすインパクトと対応策 参加 5 名

2023.05.18-20 令和 5 年度入研協大会 (第 18 回) 主催: 大学入試センター 参加 1 名

2023.07.31 全学 FD セミナー 「大学院生のキャリアデザイン支援を考える - 文学・理学など基礎系研究分野の支援事例を中心に -」 参加 4 名

2023.08.01 エルゼビアによるオンライン講習会「研究発信のインパクトを高めよう！良い論文の書き方と研究インパクトの調べ方」 参加 9 名

2023.09.12 全学 FD 研究会「大阪公立大学における FD のあり方について考える(2)」 参加 15 名

2023.10.30 2023 年度第 1 回高大連携フォーラム「生成 AI 時代の教育を考える」(主催：大学コンソーシアム大阪) 参加、大学コンソーシアム大阪・高大連携推進委員会・委員長として企画から従事 1 名

2023.11.27 全学 FD「初年次ゼミナール実践事例共有会」 参加 1 名

2023.12.01 「大学院教育改革フォーラム 2023」 参加 1 名

2023.12.13 第 2 回教育改革フォーラム「大学における生成 AI の活用について考える」 参加 9 名

2024.02.29 2023 年度第 2 回高大連携フォーラム「生成 AI 時代の教育を考えるー高大接続を見据えた高等学校におけるデータサイエンス教育実践ー」(主催：大学コンソーシアム大阪) 参加、大学コンソーシアム大阪・高大連携推進委員会・委員長として企画から従事 1 名

2024.03.04 高大接続セミナー『高校教育の変化と展開：「総合的な探究の時間」と大学教育との接続』 主催：大阪公立大学高等教育研究開発センター 1 名

オンデマンド アクセシビリティセンター研修 参加 3 名

オンデマンド アンコンシャスバイアス研修 1 名

(電気電子システム工学科、電気電子システム工学分野)

月例の分野教育改革会議で Plan、Act を回すことにより、教育に課題が生じた際に迅速な対応ができるようにしている。

学生に大学院後期課程進学後のキャリア例を示すため企業出身の先生および後期課程から企業に就職した OB を招き、電シスの主催でキャリアセミナーを開催した(12 月 15 日開催)。これに合わせ、新入生(コロナ禍で開催できなかったため B2 も含めた)に向けて各研究室大学院生による研究室紹介を行った。

(化学工学科、化学工学分野)

- ・学部や課程の GPA の値と 1-2 回生担当の数学や物理学、化学の単位取得状況と成績との相関や微積分学や線形代数学、常微分方程式の C または D 判定学生の 2 年次以降の専門科目成績との相関関係などを分野内委員会の内部質保障委員会でメール審議し、専門科目である移動速度論や数学演習を担当する教員と共有し、授業の理解不足や成績不振者の指導に活かす取り組みをしている。
- ・GPA の低い学生を重点的に面談し、成績不振者と GPA の関係から学生指導につなげられないか検討を開始する。また、総単位数との相関も見る。